

自主学習会

日本の原始・古代を考える

(毎月第2木曜 13時～)

原始古代社会は、アジア各地から渡来した諸種族・民族が混交・重層化する中で形成されます。学習会ではこの原始古代の歴史を考古・民俗・神話・文献史学の各分野にわたって学習し、質疑に応じて討議します。春・秋に遺跡と博物館を見学し時空の異なる時代を体感できる楽しい学習会です。

近現代史読書会

(毎月第3火曜 13時30分～)

20名程のメンバーが持ち回りでテキスト「占領下日本」の各章を要約・補足説明、また、参考文献の紹介、論点などを纏めて発表しています。その後、侃々諤々の議論百出となりますが、紳士どろいの楽しい読書会です。是非覗いてみてください。

旅と街道学習会

(毎月第4水曜 13時30分～)

参勤交代や物資の輸送、信仰や物見遊山の旅等、近世には多くの街道が賑わい、今の街道の礎ともなっています。当会はこれら房総や近郊の街道を選び、街道の歴史や役割、地理、民俗等について図書館や現地を訪ね調査・発表しあいます。現在、東海道・水戸街道・国道51号・日光東往還を対象に多くの仲間と楽しく旅しています。

古文書学習会

(毎月第4金曜 13時30分～)

古文書を解説し、その時代背景を考え、内容を発表しています。一昨年1月から「福富家文書」を読んでいます。大森銀山(幕府直轄地)の支配下にあった石見国福光下村の庄屋福富家の歴史を綴った地方文書です。武家文書と違い、癖のある字体ですが、知恵を絞りながら読み進めています。ご興味ある方は見学においでください。

歴博友の会入会のご案内

—友の会会員の特典—

- ✓国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- ✓友の会が主催する講座、講演会、見学会等各種のイベントに随時参加できます。
- ✓歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が送付されます。
- ✓普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が送付されます。
- ✓普通会员には入会時および更新時に、「歴博招待券」が3枚送付されます。

会員の種類	年会費
新規普通会员	*8,000円
準会員	3,000円
家族会員(2人分)	5,000円

*2年目以降(継続普通会员)の年会費は7,000円です。

問い合わせ: 表記の一般財団法人 歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています (検索画面から“歴博友の会”で検索できます)



国立歴史民俗博物館

友の会



(2017.10発行)

一般財団法人 歴史民俗博物館振興会
〒285-0017 千葉県佐倉市城内町117
国立歴史民俗博物館内

電話 043-486-8011

FAX 043-486-8008

<http://www.rekishin.or.jp>

E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。友の会会員ならどなたでも参加できます。興味のある学習会に参加しませんか。

古代の東国探訪学習会

(毎月第3木曜 13時30分～)

2015年の3月の例会100回を期して、これまでの古代、東国の枠に縛られず自由に考古・歴史等の学習結果・自説等を持ち寄って、発表・討論。サロンの雰囲気友人作り・史跡探訪・懇親会などを実施しています。

近世史読書会

(毎月第1水曜 13時30分～)

江戸時代、百姓は搾取の対象というイメージがありますが、実際には物申す存在で、幕藩体制を揺るがす力を持ち、活力溢れる生活を送っていました。最新の近世史は、我々が学んだものと随分変わっています。皆さん、もう一度楽しく学んでみませんか。是非一度ご参加下さい。

日本の民俗を訪ねる

(毎月第2水曜 13時30分～)

清が死んだら坊っちゃんのお寺へ埋めて下さい。お墓の中で坊っちゃんの来るのを楽しみに待っております。民俗とは生活の中から生まれ伝えられてきた文化です。あなたにとっての民俗文化とは何ですか。赤シャツは実は漱石だった。

総合展示物学習会

(毎月第4木曜 13時30分～)

歴史好きな私たちにとって展示室内は歴史ロマンの詰まった宝庫です。展示物の関連資料を読み解きながら情報交換をし、日本の歴史(生活史)を学習しています。そして学習したことを展示室で確認し、知り得たことは共有している楽しい学習会です。